



4月もオープン中止

- しかし、①「おたがいさま」は可能な範囲で行う
②ラジオ体操は変わらずに行う
③外での安全なイベントを行う

3月月例会で決定

首都圏の東京・神奈川・埼玉・千葉4都県の緊急事態宣言が3月21日に解除されましたが、埼玉県は4月21日までの外出自粛等を要請しています。変異ウイルスの増加もあり、感染の第四波が始まったとの見方も出ています。川島町の陽性者は42人(3月30日現在)です。

3月16日月例会を開いて4月オープンについて検討しました。先月同様今回も、緊急事態宣言が解除されても即大丈夫とはならないだろうとの意見が多く、

4月もオープンは見合わせることにしました。一方で、「おたがいさま」は3月同様可能な範囲で行う事を確認しました。もちろん包丁研ぎはパティオの庭で行います。

今年度はイベントを全く開催できませんでした。従来のようなイベントだと来年度上期の開催は不可能だろうと思われまます。高齢者が安心して参加出来るイベントはないだろうかと思いを話し合い、身近で歩いて出かけて外で行えるイベントを考えることにしました。手始めに「花見ウォーキング」を3月28日(日)に開催することを決めました。

コロナウイルスを考える

私たち人類はウイルスと共生してきた、ウイルスが人類を進化させたといえる、との考えがあります。私たちは数十兆の常在菌を体にかけているといえます。

46億年前に地球が誕生し、約30億年前ウイルスや細菌・微生物が生まれました。私たちヒト属が登場するのが約200万年前、私たちの直接の先祖である現生人類(ホモ・サピエンス)の登場はたかだか20万年前です。ウイルスは私たちよりも遙か昔から地球に存在し続けてきました。2020年に8万5千のウイルスが確認されています。ウイルスはヒトの

細胞の百分の一程の大きさで、細胞がなく、宿主の細胞に潜り込んだり遺伝子を送り込んで増殖していきます。ウイルスによりさまざま形状をしています。コロナウイルスは王冠(コロナ)の形をしています。

この増殖で毒を出して細胞を破壊するのが病原性ウイルスです。宿主が死ぬと増殖できなくなるので、毒性は弱まって行くと考えられます。普通の風邪もかつて多くの死者を出したのではないかとはいわれまます。インフルエンザは現在でも多くの死者を出していますが、いずれ普通の風邪と同様になるのでしょうか。新型コロナウイルスとの共存は、新行われるのでしょうか、まだまだ全く先が見えません。

花見ウォーキング

3月28日(日)10時、北公園に集合して緑地公園を通り、越辺川堤防を南下して、桜公園・白金工業

桜並木を堤防から眺めて八幡橋付近で解散しました。肌寒い日でしたが、7、8分咲きの桜はきれいで、約2kmをゆつくり50分かけて歩きました。参加者は27名、帰りは三ツ五ツのウォーキングでした。

ラジオ体操は
行っています



包丁研ぎの日時

4月13日(火)・27日(火)13:00~15:00
※※パティオの庭で行います※※

